

“超流行りゲー大賞 2021”発表！

ゲームクリエイター、ゲーム好き著名人 151 名が選ぶ
今年一番ハマった作品 1 位は「バイオハザード ヴィレッジ」！

ゲーム総合誌『週刊ファミ通』（発行：株式会社 KADOKAWA Game Linkage、編集長：嵯峨寛子）は、12 月 23 日（木）発売の 2022 年 1 月 6・13 日合併号において、2021 年にゲーム業界関係者がもっともハマったゲームタイトルを選出する“超流行りゲー大賞 2021”の結果を発表しました。

“超流行りゲー大賞”は、ゲームクリエイターやゲーム好きで知られる著名人に、この 1 年でハマったゲームを挙げていただく『週刊ファミ通』の年末恒例人気企画となります。今年 2021 年に参加いただいた総勢 151 名の投票結果をランキング化し、最も支持されたタイトルを“超流行りゲー2021”として決定しました。『週刊ファミ通』2022 年 1 月 6・13 日合併号では、本ランキングの上位 20 タイトルを掲載しているほか、ハード別のランキングや、今回選出されたタイトルを分析し、2021 年の傾向を様々な角度から考察しています。

さらに年末年始特大号の本号では、2021 年のゲーム関連ニュースを振り返る“ゲーム業界重大ニュース”をはじめ、多数の特集を掲載。多彩なジャンルの作品が盛り上がった今年のゲーム業界を、本号と共に振り返ってみてはいかがでしょうか。

2021 年も盛り上がりを見せたゲーム業界。もっともゲーム業界関係者の心を掴んだタイトルとは！？

【超流行りゲー大賞 2021 TOP3】

第 1 位：「バイオハザード ヴィレッジ」

（カプコン／2021 年 5 月 8 日発売／PS5・PS4・XSX・XB One）

第 2 位：「ウマ娘 プリティーダービー」

（サイゲームス／2021 年 2 月 24 日配信／iOS・Android）

第 3 位：「モンスターハンターライズ」

（カプコン／2021 年 3 月 26 日発売／Switch）

<『週刊ファミ通』編集長 嵯峨寛子コメント>

2021 年は、昨年に続き困難の多い年でしたが、それにも関わらず多くのゲームが生まれ、私たちを楽しませてくれたことに、まずは感謝したいです。ゲームの開発と販売に関わる皆さん、本当にありがとうございます。

さて、今回の“超流行りゲー大賞 2021”にランクインしたタイトルを見ると、ゲームの多様さに改めて驚かされます。1 位となった「バイオハザード ヴィレッジ」は、前作から正統進化を遂げたとと言える作品。怖さを表現するさまざまな演出、雰囲気ある“村”を探索する楽しさ、そして主人公イーサンを巡る物語が国内外で反響を呼び、全世界で 500 万本販売を突破しています（※2021 年 10 月末時点）。

一方、2 位の『ウマ娘 プリティーダービー』は、まったく違う方向性のゲームです。実在する競走馬をモチーフにした“ウマ娘”たちを育成する本作は、圧倒的なクオリティのグラフィック、何度も育成にトライしたくなる絶妙なバランス、多彩なメディアミックス展開などが話題で、こちらは国内で 1100 万ダウンロードを突破しました（※2021 年 10 月末時点）。

3 位以降のタイトルを見ても、AAA タイトルからインディーゲームまで、幅広いラインアップになっています。こんなにも豊かな体験ができるエンターテインメントは、そうそうありません。

日本のゲーム人口はどんどん増えていますが、ゲームの豊かさをまだまだ知らない人は多いはず。そんな皆さんに、「こんなゲームもあるよ、あのゲームも素敵だよ」といろいろな可能性を提示できるように、ファミ通はこれからも尽力していくつもりです。



人物イラスト：荒井清和

<“超流行リゲー大賞 2021”とは>

“超流行リゲー大賞 2021”は、ゲーム業界のクリエイターや、ゲーム好きな著名人総勢 151 名が、今年ハマったゲームタイトルを選出し、もっとも支持されたタイトルを決める企画です。挙げられた順位に応じてポイントを加算し、各タイトルの合計ポイントをランキングにしました。

【ご参考：超流行リゲー大賞 2020 TOP3】

第 1 位	: 「Ghost of Tsushima(ゴースト・オブ・ツシマ)」 (ソニー・インタラクティブエンタテインメント/2020 年 7 月 17 日発売/PS4)
第 2 位	: 「あつまれ どうぶつの森」 (任天堂/2020 年 3 月 20 日発売/Switch)
第 3 位	: 「ファイナルファンタジーVII リメイク」 (スクウェア・エニックス/2020 年 4 月 10 日発売/PS4)

『週刊ファミ通』年末年始特大号発売。2021 年を締めくくる、年内最後の大放し！

<商品概要>

書 名:週刊ファミ通 2022 年 1 月 6・13 日合併号

発 売 日:2021 年 12 月 23 日(木)

価 格:600 円(税込)

付 録:ダウンロードコンテンツ スペシャル福袋

<おもな記事・内容>

★ゲーム業界関係者・著名人が 2021 年にハマったゲームは!? 【年末恒例企画】超流行ゲー大賞 2021 を発表

ゲームクリエイターや業界関係者、ゲーム好きの著名人に、この 1 年にハマったゲームを挙げてもらう年末恒例企画“超流行リゲー大賞”を今年も開催！果たして 2021 年もっとも遊ばれたタイトルは…!?

★『グラブル』特集

今回の“グラ通”は、大增ページで“グラブルフェス 2021”発表情報を紹介！

★2021 年のゲーム業界重大ニュース特集

ゲーム業界の 1 年を、数々のニュースとともに振り返る。

★Indie World 特集

★The Game Awards 2021 リポート



▲週刊ファミ通 2022 年 1 月 6・13 日合併号表紙

◇『週刊ファミ通』について



1986 年に『ファミコン通信』として創刊した、毎週木曜日発売の No.1 ゲーム総合誌。家庭用ゲームからゲームアプリ・アーケード・PC まで幅広くゲーム情報を網羅しています。

ファミ通.com: <https://www.famitsu.com/>

◇KADOKAWA Game Linkage(カドカワ ゲーム リンケージ)について



株式会社 KADOKAWA Game Linkage(代表取締役社長:豊島 秀介)は、株式会社 KADOKAWA の 100%子会社です。『ファミ通』『ゲームの電撃』ブランドをはじめとする情報誌の出版、Web サービス運営、動画配信といったゲームメディア事業を展開しています。そのほか、グッズ制作やイベント企画・運営、e スポーツマネジメントなど、ゲームにまつわるあらゆる分野で新しい価値の創出に挑戦。ゲームとユーザーの熱量を高め、ゲームの面白さや楽しさをさらに広げてまいります。

公式サイト URL: <https://kadokawagamelinkage.jp>